

「駅まちエリア」に必要な施設や機能を図面に表現してみよう

まとめ

	班	名称	施設	基本的な考え方
エリアA	A	つどいのエリア	道の駅、直売所、飲食店、公園・広場、病院、集合住宅（土台のしっかりした）[追加]	<ul style="list-style-type: none"> ・碓氷川、既存集落地及び既存市街地に最も近いエリアであることを活かす。 ・南北の交通（県道磯部停車場上野尻線）がクロスし、フレッセイが位置する近商エリアも真東に位置 ⇒多様な目的を持った人が集い、出会い、楽しめるエリアとする。 ・既存集落地が隣接 ⇒既存集落地の住環境への配慮が必要であるとともに、既存集落地の住民の日常生活の利便性向上にも寄与する施設（機能）を配置。
	B、D	快適エリア	老人施設 [追加]、病院、商業（スーパー）、ホテル、コンビニエンスストア、金融機関（ATM）、駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・既存市街地に最も近く、既存集落地に隣接している。 ⇒既存市街地や既存集落地に住んでいる人、駅まちエリアを訪れる人が利用しやすいように施設を配置。
	C	つどいのエリア	公園・広場、農業体験、児童館、図書館、美術館、住居等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクが最も高いエリア ⇒災害リスクを考慮した施設の配置が必要。 ・フレッセイが位置する近商エリアとのアクセスが最もよいエリアであることを活かす。 ・エリア西側には既存の集落地に隣接 ⇒既存集落地への配慮が必要。
エリアB	A	観光のエリア	ホテル、観光案内所、個人商店・个性的な店舗、駐車場、駐輪場、レンタサイクルポート	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅の駅前に位置する ⇒市民に加え、観光客等安中市を訪れる方々にも寄与し、利用しやすいエリアとする。 ・新駅を利用する多様な交通（自動車、自転車、歩行者、公共交通等）が集まる ⇒交通結節機能を高める施設整備が必要。
	B、D	おもてなしエリア	お試しフードコート [追加]、道の駅、観光案内所、レンタサイクルポート、駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅の駅前に位置する。 ⇒市民や観光客に寄与する施設を配置。
	C	にぎわいのエリア	直売所、個人商店・个性的な店舗、飲食店、駐車場、駐輪場、観光案内所、レンタルサイクルポート	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に隣接しているエリアBとCでは、既存市街地等へのアクセスが良い駅北のエリアBがメインとなる。 ⇒他エリアに配置した機能であっても集約できるのであれば駅前である本エリアに集約することが望ましい。 ⇒商業系は基本的に本エリアに配置。 ・観光客も訪れることが想定される。 ⇒市のアピールをするエリアとする。
エリアC	A	教育（学び）・子育てエリア	教育施設、児童館、住居等、商業施設、コンビニエンスストア	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅の真南に位置するものの、既存市街地や近商エリア、また西毛広幹道から離れており、既存集落地や農地が周辺に広がっている。 ⇒駅まちエリアで最も静かな、落ち着いたのあるエリアとする。 ・駅まちエリア以西では、商業施設や店舗が少ない。 ⇒ちょっとした買い物ができるような環境も確保
	B、D	ふれあいエリア	複合施設（保育施設、美術館、児童館、図書館、フリーワーキングスペース、児童館）、駐車場・駐輪場、飲食店、広場、植物園、コンビニエンスストア	<ul style="list-style-type: none"> ・駅まちエリア南側（C・D）は、既存市街地や近商のエリアから離れている ⇒「住む」「子供」の中心とエリアとする。 ・比較的用地が大きい ⇒市民（子供含む）のための、多種多様な施設を配置。
	C	つなぎのエリア	駐車場、駐輪場、金融機関（ATM）[追加]、コワーキングスペース、教育施設（通信制）、コンビニエンスストア	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に隣接しているエリアBとCでは、既存市街地等へのアクセスが良い駅北のエリアBがメインとなる。 ⇒本エリアは、駐車場や駐輪場等の交通施設をメインとし、駅と周辺市街地をつなぐエリアとする。
エリアD	A	文化のエリア	図書館、美術館、植物園、文化センター [追加]、フリーワーキングスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアCと同様、周辺に農地等が広がっているのも静かな雰囲気だが、西毛広幹道がエリア東側を南北に走っていることやエリアの形状もよい。 ⇒比較的規模（床面積や高さ）が大きい同種の施設でまとめ、複合的に利用できるエリアとする。 ・妙義山の絶景を正対で楽しむことができる（朝日の当たる妙義山は素晴らしい）エリアである。 ⇒規模の大きな施設とセットで眺望スポットとして活用
	B、D	住んで楽しいエリア	住居等、公園、個人商店・个性的な店舗、避難所 [追加]	<ul style="list-style-type: none"> ・駅まちエリア南側（C・D）は、既存市街地や近商のエリアから離れている ⇒「住む」「子供」の中心とエリアとする。
	C	いやしのエリア	病院、（コンテナ）ホテル [追加]	<ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクが低いエリアであることを活かす。 ・最も眺望の良いエリアであることを活かす。
その他	A	（周辺の農地）	農業体験	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に農地が広がっていることを活かし、農業体験は駅まちエリア内ではなく、周辺農地を活用して行う。
		（碓氷川右岸拠点商業地域内）	金融機関、ATM [追加]	<ul style="list-style-type: none"> ・実店舗の金融機関は必要なく、ATMのみを近商に立地する商業施設内に設ける。
	B、D	-	-	-
C	-	-	-	

テーマ 視点	持続可能な 賑わいづくりのために (賑わいを創り・演出する工夫、イベ ントなどの取組、どういふ方にまちづくり に関わってもらおうかなど)	安全・快適・便利な 移動環境づくりのために (使い勝手のよい公共交通、歩行者動線 のつなげ方など)	安全で安心できる 生活のために (災害への備え・防犯など)	「心地よい・美しい」 空間づくりのために (建物の建て方のルール、景観や周辺環 境への配慮、まちのうらおい・ゆとりな ど)	
留意すること 取り組むこと	<p>(第1回WSの結果より)</p> <p>・個人店が続けていきやすい環境づくり</p> <p>○文化・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能も発信する ・人々の発表の場づくり ・新しい町の定期的な情報発信と変化を追求していく ・デザイン性・話題性のある建築 ・インスタ映えする要素 ・撮り鉄や風景写真家に対して撮影場所・発表会場の提供 <p>-----</p> <p>○イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントステージの確保(学生の部活動の発表等) ・フリーマーケットやマルシェの実施 ・季節ごとの行事やイベント ・子育て世代が参加しやすいWSや会議(子連れOK) <p>-----</p> <p>○空間・施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旧施設の役割を明確化 ・案内板の設置 ・滞在場所への電源の整備 <p>-----</p> <p>○にぎわい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を歩かせる ・人が居るのがわかるように ・駅南側のにぎわい創出 <p>-----</p> <p>○移住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者を増やす 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <p>・既存市街地と駅まちエリアを結ぶ動線の確保</p> <p>・数カ所に分けて駐車場の確保</p> <p>・道の名称を新しくする</p> <p>・バリアフリーに配慮した道の整備</p> <p>○公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時周回の小型バス ・鉄道の便数増 ・バスで乗り換えなしで前橋・富岡へ ・“パーク&ライド”の促進 ・定期パスによるゾーン内の回遊ルートの開発 ・新エリア内を周回する乗り物 ・夜間の公共交通を増やす <p>-----</p> <p>○自動車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路は3車線 ・Pは駅から少しはなす ・新旧の道の接続利便性 ・渋滞対策(企業のエリア内の居住促進等) <p>-----</p> <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車道、歩道、自転車道の整備・明確化 ・新駅へのアクセス ・広くて段差の少ない歩道の整備 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <p>・災害が少ない安全なまちであることを宣伝</p> <p>○災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫(防災用) ・電線をつくらない ・避難所の確保 ・太陽光パネル設置による自給自足のエネルギー確保 ・洪水対策 ・防災意識を高める <p>-----</p> <p>○防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街灯、防犯カメラの設置 ・街灯を増やす ・歩道を広く平らに ・交番 ・ワンワンパトロール等の実施 ・声かけ運動による独居世帯の解消運動 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <p>・太陽光ばかり作らない</p> <p>・リサイクルを広める</p> <p>・空き家に住むメリットをつくる</p> <p>・街並のカラーを統一する</p> <p>○建物の建て方のルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の高さ制限 ・建物の高さでエリア分け ・建物の色や形を統一 ・エリアごとに建物のコンセプトをまとめる ・電線をつくらない <p>-----</p> <p>○快適な空間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を植える ・日陰をつくる(猛暑対策) ・ごみ箱の設置(きれいなまち) ・みどりの維持管理 <p>-----</p> <p>○特徴ある街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な街灯やゴミ置き場の設置 ・特徴的な道路の名称 <p>-----</p> <p>○生活利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルコーナーの設置 ・アパートも一階はお店に ・自動販売機の充実(災害時にも活用可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の虫対策 ・秋・冬の強風対策 ・住むもよし 来てもよし

エリアA つどいのエリア

多様な目的をもった人が集い、
出会い、楽しむエリア
災害や既存集落地への配慮が必要

【各施設の配置の考え方】

○道の駅・直売所・飲食店

・自動車利用が多く想定される道の駅や直売所を核とする施設を東西・南北の交差点付近（県道磯部停車場上野尻線沿道）に配置、近商エリアとの人の行き来も考慮して飲食店も併設。

○公園・広場

・BBQ など多目的に使える大きな公園・広場をエリア中央部～碓氷川沿いに配置。

○病院、集合住居（土台のしっかりした）[追加]

・公園・広場をバッファとしつつ、既存集落地の住環境への配慮・調和を目的として、エリア西部に住居と病院を配置。病院は、市民はもちろん、来訪者や既存集落地の住民も利用しやすい施設とする。

エリアB 観光のエリア

市民と観光客が
利用
交通結節機能

【各施設の配置の考え方】

○観光案内所・ホテル

・観光客等、安中市を来訪する方々が利用するホテル・観光案内所はエリア内の駅に近いところに配置。

○個人商店・個性的な店舗

・観光客の利用も想定した個性的な店舗を、観光案内所やホテル近くに併設。フレッセイが建つ近商エリアは市民や周辺住民の日常的な買い物先として、エリアBの個人商店・個性的な店舗は、それらとは異なる「安中の新たな商いの場、おしゃれな店舗がある場」として特徴を持たせる。（昔からあるような老舗の個人商店とは異なるイメージ）

○駐車場・駐輪場・レンタサイクルポート

・駅利用者のための駐車場・駐輪場は駅近くに必須。観光客（の利用がメイン）のためのレンタサイクルポートは、観光案内所等に併設しても良い。

碓氷川右岸拠点
商業地域造成事業



比較的規模の大きい同
種施設をまとめた複合
的に利用できるエリア
眺望が良い

エリアD 文化のエリア

【各施設の配置の考え方】

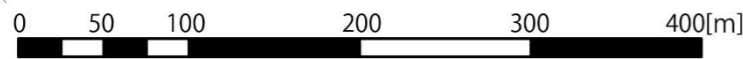
○図書館・美術館・文化センター [追加]・植物園

・文化施設である図書館、美術館、文化センター及び植物園等の公共施設の機能を複合的に連携させて、安中市の新たな文化の発信拠点として活用。これらの施設は施設の規模も比較的大きくなることから、商業的な賑わいからは一線を画し、交通量が多く、（一部）高架構造となる西毛広幹道に近いエリアDに配置。

○フリーワーキングスペース

・市民や来訪者だけでなく、学生も利用できるフリーワーキングスペースも、これらの文化系施設の一機能として配置すると効果的。

- 駅まちエリア
- 既存市街地
- 既存集落地



エリアC 教育（学び）・子育てのエリア

最も静かで落ち着きのあるエリア
ちょっとした買い物ができるように

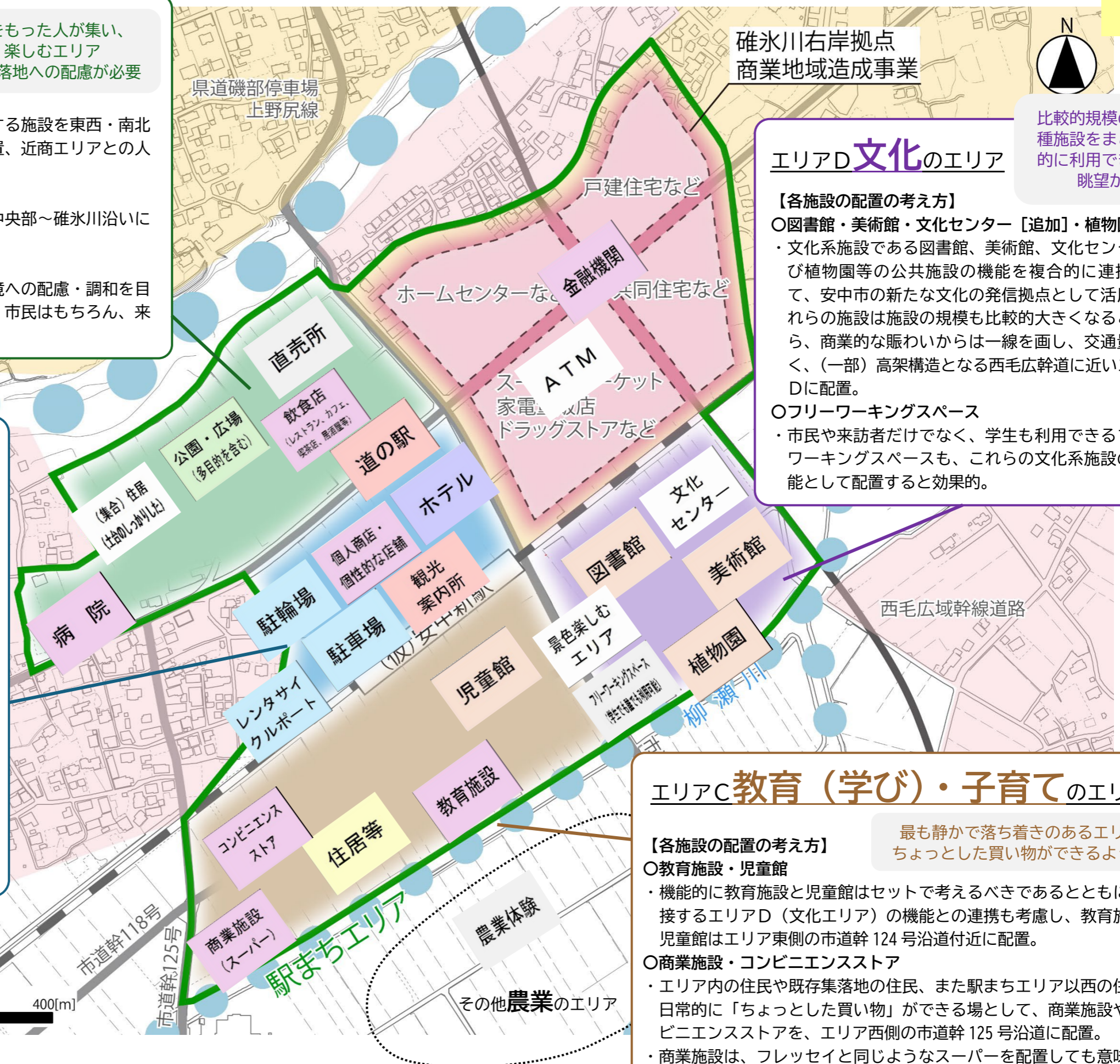
【各施設の配置の考え方】

○教育施設・児童館

・機能的に教育施設と児童館はセットで考えるべきであるとともに、隣接するエリアD（文化エリア）の機能との連携も考慮し、教育施設と児童館はエリア東側の市道幹124号沿道付近に配置。

○商業施設・コンビニエンスストア

・エリア内の住民や既存集落地の住民、また駅まちエリア以西の住民が日常的に「ちょっとした買い物」ができる場として、商業施設やコンビニエンスストアを、エリア西側の市道幹125号沿道に配置。
・商業施設は、フレッセイと同じようなスーパーを配置しても意味はないため、販売商品やサービス内容は、検討が必要。



テーマ 視点	持続可能な 賑わいづくりのために (賑わいを創り・演出する工夫、イベント などの取組、どういう方にまちづくりに関 わってもらえるかなど)	安全・快適・便利な 移動環境づくりのために (使い勝手のよい公共交通、歩行者動線の つなげ方など)	安全で安心できる 生活のために (災害への備え・防犯など)	「心地よい・美しい」 空間づくりのために (建物の建て方のルール、景観や周辺環境 への配慮、まちのうるおい・ゆとりなど)	
留意すること 取り組むこと	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人店が続けていきやすい環境づくり <p>○発信・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能も発信する 人々の発表の場づくり 新しい町の定期的な情報発信と変化を追求していく <p>○新旧の施設の使い方・見せ方</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトな町を生かし、新施設と旧施設の役割を明確にする。 文化エリアの複合施設はデザイン性があり、話題性のある建築にする <p>○人口を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住者を増やす 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存市街地と駅まちエリアを結ぶ動線の確保 数カ所に分けて駐車場の確保 道の名称を新しくする バリアフリーに配慮した道の整備 <p>・歩道、自転車道の整備 ↓ ○個々の施設整備</p> <p>・新駅へのアクセス 車、自転車、徒歩とした場合の動線の明確化 ↓ ○ネットワークづくり</p> <p>・デマンドだけでなく、定時周回の小型バス ↓ ○公共交通 (定時性)</p> <p>○地元企業の努力 (エリアに住んでもらう)</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝夕のラッシュを作ってる企業の努力 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない安全なまちであることを宣伝 <p>・街灯、防犯カメラの設置 ↓ ○防犯まちづくり</p> <p>・道路、歩道の整備 ↓ ○安心して歩ける→車道と歩道をわける。</p> <p>○洪水対策をしっかりと!!</p> <ul style="list-style-type: none"> つどいエリアの安全性を強化しアピールする 災害、水害時の防災意識を高める 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光ばかり作らない リサイクルを広める 空き家に住むメリットをつくる 街並のカラーを統一する 推し!! <p>・建築物の高さ制限 (景観・防犯) ↓ ○建物の建て方ルールを!! 景観・防災 その他・・・ 建物の高さでエリア分け ex 西毛幹線沿いは高いところへ ↑川の近くも</p>	

エリアA 快適エリア

既存市街地や既存集落地に住んでいる人、駅まちエリアを訪れる人が利用

【各施設の配置の考え方】

- 老人施設 [追加]・病院・商業施設 (スーパー)
 - ・生活するうえで必要不可欠な施設である。
 - ・駅まちエリアだけでなく、既存市街地に住んでいる人も利用できるように、市街地と新駅エリアの境界近くに配置。
- ホテル
 - ・新駅利用者の観光客や、既存市街地の人々の利用を想定。
 - ・新駅の駅前 (エリアB) において、ホテルより相応しい施設があると判断。
- コンビニエンス・金融機関 (ATM) [追加]
 - ・現状、歩いて行ける距離にコンビニエンスストアがないため配置。
 - ・コンビニエンスストアは、一定スパンで配置が望ましい。
 - ・金融に関する機能は、コンビニエンスストアのATMで代用。
- 駐車場
 - ・車社会であるので、駐車場は必須である。
 - ・既存市街地、既存集落地の人々が訪問する際の利用を想定。

エリアB おもてなしエリア

市民と観光客が利用

【各施設の配置の考え方】

- お試しフードコート [追加]
 - ・市民や観光客が何度来ても楽しめるよう週替わりで変わるお店があると良い。
 - ・定期的にイベントがあると良い。
- 観光案内所、道の駅、レンタサイクルポート
 - ・観光客が新駅に降り立ち、すぐに観光案内所、道の駅を訪れられるように駅前に配置。
 - ・観光客、市民がレンタサイクルにより、駅まちエリアを周遊することを想定。
- 駐車場
 - ・駅利用者のための駐輪場は駅近くに必須。

エリアD 住んで楽しいエリア

「住む」「子ども」中心のエリア

【各施設の配置の考え方】

- 住居等、公園
 - ・子供たちであふれる街とするために、公園を住居に隣接する形で配置。広場のような開けた空間は騒音等を考慮しては配置しない。
 - ・イベントの実施も想定。
- 個人商店・個人的な店舗
 - ・チェーン店でなく、個人商店を置き、特色ある街の風景を創出。
- 避難所
 - ・現在は川を越えて、避難しなくてはならないことが避難所は必要。

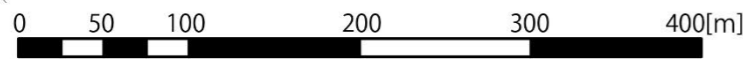
エリアC ふれあいエリア

「住む」「子ども」中心のエリア
市民のための多種多様な施設を配置

【各施設の配置の考え方】

- 複合施設 (保育施設、美術館、児童館、図書館、フリーワーキングスペース、児童館)、飲食店、広場、植物園
 - ・様々な人の活動を受け止め、活気をつくりたい。そのため、図書館、美術館児童館、教育施設 (保育) 等の公共施設を束ねた複合施設を配置。
 - ・南西の既存市街地の方も利用することを想定
- 駐車場・駐輪場
 - ・車社会であるので、駐車場は必須。
 - ・学生の利用も予想されるので駐輪場を配置。
- コンビニエンス
 - ・歩いて行ける距離にコンビニエンスストアがないため配置。
 - ・コンビニエンスストアは、一定スパンで配置が望ましい。

- 凡例
- 緑線 駅まちエリア
 - 黄色線 既存市街地
 - 赤線 既存集落地



まちの「価値」を高めるために留意すること・取り組むべきことを考えよう

テーマ 視点	持続可能な 賑わいづくりのために (賑わいを創り・演出する工夫、イベント などの取組、どういふ方にまちづくりに関 わってもらえるかなど)	安全・快適・便利な 移動環境づくりのために (使い勝手のよい公共交通、歩行者動線の つなげ方など)	安全で安心できる 生活のために (災害への備え・防犯など)	「心地よい・美しい」 空間づくりのために (建物の建て方のルール、景観や周辺環境 への配慮、まちのうらおい・ゆとりなど)	
留意すること 取り組むこと	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人店が続けていきやすい環境づくり <p>○イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 週末 フリーマーケットやマルシェ マルシェ キッチンカー 小さくても良いので音楽ステージ 1年を通して季節ごとの行事やイベントがあるとよい <p>○人を留める 赤 緑</p> <ul style="list-style-type: none"> 人を歩かせる 人が居るのがわかるように インスタ映えするような ↑補助 <p>○(かわいく)目をひく</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内板どのエリアの何があるか見てわかるように <p>○南側もにぎやかに!!</p>	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存市街地と駅まちエリアを結ぶ動線の確保 数カ所に分けて駐車場の確保 道の名称を新しくする バリアフリーに配慮した道の整備 <p>○渋滞 赤</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路は3車線 Pは駅から少しはなす <p>←人も来て</p> <p>-----</p> <p>←人も来てほしい</p> <p>○便利 赤</p> <ul style="list-style-type: none"> 新駅ができて電車の数が少なければ人はこないの便数増 バスで乗り換えなしで前橋・富岡へ <p>○乗ることを促す</p>	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない安全なまちであることを宣伝 <p>○夜でも散歩したい!! 赤 緑</p> <ul style="list-style-type: none"> 街灯を増やす 街外灯の間隔を狭く 歩道を広く平らに <p>○災害に備える 赤</p> <ul style="list-style-type: none"> 備蓄倉庫(防災用) 電線をつくらない(景観) <p>↑ 景観にも配慮</p> <p>○安全・便利 赤</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者と自転車道を分けて作る 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光ばかり作らない リサイクルを広める 空き家に住むメリットをつくる 街並のカラーを統一する <p>○快適 赤 緑</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路樹を植える 日陰をつくる(猛暑対策) <p>○特徴ある街づくり 赤 緑</p> <ul style="list-style-type: none"> すてきな外灯づくり 道路をすてきな名前にする(キラキラネーム) ゴミ置場をすてきな建物にして見ばえよくする 景観をいかし色あいを統一 <p>○特徴ある街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> すてきな外灯づくり 道路をすてきな名前にする <p>○防災+利便</p> <ul style="list-style-type: none"> 自販機を充実。いざとなったら防災に使える <p>○生活利便性 赤</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクルコーナー/ペットボトル、缶、ダンボール アパートも一階はお店に 	<p>住むもよし 来てもよし</p> <p>Annnaka</p> <p>○イベント</p> <p>○人を溜める</p> <p>○渋滞</p> <p>○便利</p> <p>○夜でも散歩</p> <p>○災害</p> <p>○安全・便利</p> <p>○快適</p> <p>○持ちよう</p> <p>○生活利便</p>

エリアA “つどい” のエリア

近商エリアにもっとも近い
災害や既存集落地への配慮
が必要

【各施設の配置の考え方】

○公園・広場、農業体験

- ・災害リスクがあるため、病院などは望ましくなく、公園であれば比較的許容可能。
- ・フレッセイで買い物した人が、ついでに子どもを公園で遊ばせる想定。
- ・子供の体験のため、公園・広場と農業体験は一体として整備。

○児童館、図書館、美術館

- ・児童館・図書館・美術館は一体利用が見込まれるため近接させることが望ましく、また公園の近くにあるとよい。

○住宅等

- ・エリア西側の既存集落があり、住宅等はそれに連たんする形で配置。

エリアD “いやし” のエリア

災害リスクが低い
眺望が良い

【各施設の配置の考え方】

○病院

- ・災害リスクが低く静かであるため病院は本エリアが望ましい。

○ホテル

- ・眺望が良いため（コンテナ）ホテルは本エリアが望ましい。
- ・最近の流行りのためコンテナホテルとすることが望ましい。

エリアB “にぎわい” のエリア

【各施設の配置の考え方】

○直売所、個人商店・个性的な店舗、飲食店、観光案内所

- ・個人商店・个性的な店舗と観光案内所を近接させることで、効果的な観光アピールが可能。

○駐車場、駐輪場

- ・駐車場・駐輪場は駅南北どちらもあったほうが望ましい。

○レンタサイクルポート

- ・レンタルサイクルポートは既存市街地にある観光施設へのアクセスを考えると駅北にある方がよい。

エリアC “つなぎ” のエリア

交通施設をメインに

【各施設の配置の考え方】

○駐車場、駐輪場

- ・駐車場・駐輪場は駅南北どちらもあったほうが望ましい。

○教育施設、コワーキングスペース

- ・教育施設（通信制）は駅近にあったほうがいい

○金融機関（ATM）【追加】

- ・金融機関（ATM）は、駅内でいい。フレッセイやコンビニの中にもATMがあるはずのため、大々的な金融機関は不要。

○コンビニエンスストア

- ・コンビニエンスストアは、フレッセイと競合しないよう対角に配置するとともに、利便性向上のため市道125号と118号の交差部に配置し、駅まちエリアより西・南側の居住者の生活利便性を確保。



凡例

- 緑線 駅まちエリア
- 黄色 既存市街地
- ピンク 既存集落地



テーマ 視点	持続可能な 賑わいづくりのために (賑わいを創り・演出する工夫、イベント などの取組、どういふ方にまちづくりに関 わってもらおうかなど)	安全・快適・便利な 移動環境づくりのために (使い勝手のよい公共交通、歩行者動線の つなげ方など)	安全で安心できる 生活のために (災害への備え・防犯など)	「心地よい・美しい」 空間づくりのために (建物の建て方のルール、景観や周辺環境 への配慮、まちのうらおい・ゆとりなど)	
留意すること 取り組むこと	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人店が続けていきやすい環境づくり <p>○撮り鉄</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮り鉄を呼び込む 風景写真家に対して 撮り鉄に対して 撮影場所の提供 撮影発表会場の提供 定期的実施する <p>○イベント空間の確保 + イベント実施</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントの出来る空間(体育館等) 小・中・高各校の文化部の発表会(定期的)の実施(会場設定) 子育て世代が参加しやすいWSや会議(子連れOK) <p>○マルシェ</p> <ul style="list-style-type: none"> マルシェができるように広場には電源を整備 定期的なマルシェ開催 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存市街地と駅まちエリアを結ぶ動線の確保 数カ所に分けて駐車場の確保 道の名称を新しくする バリアフリーに配慮した道の整備 <p>◎道路</p> <p>○車</p> <ul style="list-style-type: none"> 新旧の道の接続利便性 渋滞対策 <p>○歩</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い歩道で歩きやすく並んで歩ける 段差の少ない歩道で歩く人を増やす <p>◎公共交通</p> <p>○パーク&ライド</p> <ul style="list-style-type: none"> “パーク&ライド”駅利用の利便性 up → 広い駐車場 <p>○周遊</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期パスによるゾーン内の回遊ルートの開発 新エリア内を周回する乗り物 <p>○飲み終わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間の公共交通を増やす 夜間の公共交通 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない安全なまちであることを宣伝 <p>○日常から</p> <ul style="list-style-type: none"> 街灯を増やす 歩道の照明 交番 ワンワンパトロール / 2~3人のウォーキングパト / 声かけ運動による独居世帯の解消運動(声掛けは趣味や運動) <p>○災害時</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所的なもの 自給“エネルギー”屋根を利用した太陽光発電励行 蓄電 市のシンボル公園 市民の憩いと災害時対応 5ha以上確保 	<p>(第1回WSの結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光ばかり作らない リサイクルを広める 空き家に住むメリットをつくる 街並のカラーを統一する <p>○建物の制限</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅の高さ制限 “高さ制限”高い建物からフラットな建物 高い建物の制限 エリアごとに建物のコンセプトをまとめる 新住居地の形や色を統一。戸建て賃貸で安く住めるようにして若い人に住んでもらう <p>○キレイなまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ箱を置いて定期的に管理 みどりを豊かに。管理する。そうじする。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の虫対策 秋・冬の強風対策